東中小学校だより

教育目標「明るくたくましい東中の子」



ひ:光りかがやく子 な:仲良くする子

が:がまん強い子 か:活発な子

し:失敗をおそれない子

第7号 令和5年10月31日発行

小さな学校の課題を利点と考え、生かす教育

十勝岳も冠雪し、色づいた木々は日増しに落葉し、秋が足早に過ぎております。

先日の学芸会では、ご来賓をはじめ保護者の皆様、睦会の皆様に多数のご来校をい ただき、誠にありがとうございました。東中っ子は、多数の観客を励みにして、日頃 の学習の成果を一人一人が存分に発揮したすばらしい学芸会となりました。

本校は、複式学級のある小規模校であります。小規模校には、独特のよさや課題が あります。一般的に、複式学級のある小規模校の特性として、次のようなことがあげ られます。

〇子どもたちが互いに親密な関係をもっていて、安心できる関係にある。

- 〇少人数で目が行き届き、一人一人への細かい指導が受けられ、色々な役割や経験を する機会が多い。
- ▲交流の相手が少人数で限定されるため、学習場面で多面的に考えながら話し合うこ となどが難しい。
- ▲大きな集団での社会的経験の場や機会が不足がちになる。

私たちは、複式学級のある小規模校のよさを生かし、課題は利点としてとらえて様々 な教育活動を進めております。

例えば、課題①「学年別の指導で、教師の直接的な指導を受ける時間が少ない」は 「数多くの主体的自習の経験を生かし、自ら学び自ら考える力の育成を図ることがで きる」と利点として考えて、「自分で、あるいは自分たちで学習活動を進めることがで きるよう、リーダーを立てて授業を進めるなど学習環境を整える」「主体的な学習につ なげる指導の在り方を工夫する」ように取り組んでいます。

また、課題②「2個学年で編制しているため、学級を構成する子どもたちが毎年変 わる」は「2個学年の子どもたちで構成されているからこそ、上学年と下学年の関わ りを通して、学年を越えて学び合う態度を育てることができる」と利点として考えて、 「上学年にはリーダーとしての自覚を育てる」「下学年には上学年の学び方を目指し て向上しようとする心を育てる」ように取り組んでいます。

東中小には、地域との強いつながりがあり、教育活動にも反映されております。複 式学級のある小規模校の課題を利点として考えて、地域とのつながりを生かし、今後 も持続可能な東中小ならではの教育を推進してまいります。

10月14日(土)、「ひびけ!東中CLASSIC」のテーマの下で開催した学芸会。ご家族と 4年ぶりに地域の皆様が見守る中、子どもたちは練習の成果を十分に発揮することができまし

今年からは自己紹介や手話による合唱を廃止、劇を3つから2つに減らすなど内容を精選 した分、それぞれの演目に集中して練習を重ねることができました。

掛け声も勇ましく振り付けも大きくなった『東中ソーラン』や全校で演奏するには難しい楽 譜だった『新時代』も、地道に努力を重ね、日々より良いものとなっていきました。

30 人それぞれが互いのがんばりを認めながら大きく力を伸ばした行事となりました。







子どもたち自身が楽しく演じ、笑いの中にも大切なメッセージ を込めた3~6年の劇『リモートコントロール』



11月(霜月)の主な行事予定

- 1日(水)なし日課5時間 職員会議 保護者アンケート配布
- 2日 (木) 全校朝会 ALT5・6年
- 3円(金)文化の日
- 4日(土)町民コンサート (午前授業)
- 6日(月)読書週間(18日まで)1年生4時間授業
- 7日(火)ALT全学年 保護者アンケート回収
- 8日(水)なし日課5時間 学校教育指導訪問 お弁当の日 不審者対応訓練
- 9日(木)なし日課4時間 南部地区へき複研究大会
- 10円(金)移動図書 読み聞かせ④
- 13円(月)4円の振替休業日
- 14日(火) ALT3~6年
- 16日 (木) ALT5·6年
- 17日 (金) 委員会(5)
- 20日(月)1年生4時間授業
- 21日 (火) なし日課5時間 ALT3~6年 下校指導
- 22日 (水) なし日課4時間 町教研大会
- 23円(木)勤労感謝の日
- 27円(月)1年生4時間授業 どきどき学校
- 28日(火) ALT3~6年
- 29日 (水) 読み聞かせ⑤
- 30日(水)なし日課5時間 参観日 個人懇談 非行防止教室